

ミュージックアーティスト科

作品研究2

対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	青野りえ			実務 経験	有	職種	ミュージシャン、グラフィックデザイナー				

授業概要

音楽・美術・映像・デザインなどの幅広いジャンルのアートについての知識を身につけて、自分なりの考えを持って、センスを磨いて、そのセンスを自分の表現活動に生かしていくのが目標です。平面作品を鑑賞する際に見るべきポイントを学ぶことで、より作品への興味や理解が深まり、また自らのオリジナル作品に使用するジャケットやアーティスト写真、動画のサムネイルなど、制作に役立てるすることができます。

到達目標

問題提起や自ら企画して発信するために必要な「アート的な観点」を身につける。作品を通して自分を見つめ、セルフ・プロデュース能力を高める。アートの知識を自分の作品やパフォーマンスに生かすことで技術を向上させる。

授業方法

各テーマに沿ったアート作品を鑑賞し、それについて考察し、ディスカッションを行います。全員が必ず発言する時間を設けます。作品を通して自分を見つめ、自分の趣向性に気づき、自己分析する意識を高められるように進行します。

成績評価方法

試験課題40%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表30%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点30%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)

履修上の注意

専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

なし。参考資料等は、授業中に指示する。

回数	授業計画
第1回	【芸術を学ぶ意義・意味を確認】アートとは何か？を改めて考察する
第2回	〈アート全般〉、60年代①、60年代の音楽・デザイン・ファッショについて考察する
第3回	〈アート全般〉、70年代①、70年代の音楽・デザイン・ファッショについて考察する

第4回	〈アート全般〉'70年代② 現代の音楽に与える影響について考察する
第5回	〈アート全般〉'80年代① 80年代の音楽・デザイン・ファッショについて考察する
第6回	〈アート全般〉'80年代② 現代の音楽に与える影響について考察する
第7回	〈アート全般〉'90年代① 90年代の音楽・デザイン・ファッショについて考察する
第8回	〈アート全般〉'90年代② 現代の音楽に与える影響について考察する
第9回	〈アート全般〉2000年代の音楽・デザイン・ファッショについて考察する
第10回	〈アート全般〉2010年代の音楽・デザイン・ファッショについて考察する
第11回	〈アート全般〉現代の音楽から、どの時代やジャンルの影響を受けているのかを読み解く
第12回	〈写真〉アーティスト写真・ジャケット用写真を撮影してみる
第13回	〈写真〉自分で撮った写真についての考察とディスカッションを行う
第14回	【芸術を学ぶ意義・意味を確認】作品を通して改めて自己分析をする
第15回	期末試験